
























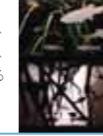



自然共生研究センター20年の軌跡

【1～10年】

自然共生研究センター開所からの10年間では、主に中小河川、ダム、情報発信を中心に、基礎的な研究を行ってきました。表中の質問形式の課題に関して取り組んだ内容の詳細は、各年度の活動レポートに掲載されています。

	1998年／平成10年	1999年／平成11年	2000年／平成12年	2001年／平成13年	2002年／平成14年	2003年／平成15年	2004年／平成16年	2005年／平成17年	2006年／平成18年	2007年／平成19年
 <p>① 大河川</p> <p>氾濫原環境の劣化機構の解明と保全手法に関する研究</p>										 <p>どのような“ワンド”や“たまり”が希少性二枚貝の生息にとって適当でしょうか？</p>
 <p>② 中小河川</p> <p>多自然川づくりに関する研究</p>	 <p>瀬や淵のある区間とない区間では、魚類の生息状況はどの程度異なるのでしょうか？</p>	 <p>単調な環境の河川で復元工法を実施すると、魚類の生息状況はどのように変化するのでしょうか？</p>	 <p>河岸の植物は、川底にどのような影響を及ぼすのでしょうか？</p>	 <p>植物で覆われた川岸がコンクリート護岸になると、水生生物はどのように反応するのでしょうか？</p>	 <p>水際植物は水中部と水上部に分かれます。水上部の植物は魚にとって必要でしょうか？</p>	 <p>水際の明るさの違いにより、魚類の生息状況には変化が見られるのでしょうか？</p>	 <p>水際のタイプが異なると、魚類の生息状況には違いはあるのでしょうか？</p>	 <p>増水時、水際植生は魚類の定位場所として機能するのでしょうか？</p>	 <p>水温の下がる冬、魚類はどんな場所で越冬しているのでしょうか？</p>	
 <p>③ ダム</p> <p>ダム下流域の環境評価と改善手法に関する研究</p>	 <p>どれくらいの流れで、河床の付着藻類が、どの程度はがれるのでしょうか？</p>	 <p>洪水が起きた時、増えた水は川のどの部分にどれくらい貯められるのでしょうか？</p>	 <p>付着藻類の流されやすさは、種によって異なるのでしょうか？</p>	 <p>アユの餌としての付着藻の維持にも川底の攪乱は必要なのでしょうか？</p>	 <p>流量の違いによって川の生産と呼吸に変化は見られるのでしょうか？</p>	 <p>川の流量は底生藻の一次生産速度に影響を与えますか？</p>	 <p>アユの摂餌は、河床付着藻にどのような役割を果たしているのでしょうか？(1)</p>	 <p>アユの摂餌は、河床付着藻にどのような役割を果たしているのでしょうか？(2)</p>		
 <p>④ 情報発信</p> <p>河川環境の効果的な情報発信手法に関する研究</p>		 <p>川の中のとらえにくい現象をわかりやすく伝えるためには？</p>	 <p>フィールドで観察しにくい現象をわかりやすく伝えるにはどのような方法が考えられるのでしょうか？</p>	 <p>流量と生物の関係を、体験を通じて学ぶには、どのような方法があるのでしょうか？</p>	 <p>河川環境を人に伝えるにはどんな方法が効果的でしょうか？</p>	 <p>水面下で見えにくい魚類の生息場をわかりやすく伝える方法がありますか？</p>				
<p>その他</p>		<p>・外来植物の繁茂は河原の在来植物にどのような影響を与えるのでしょうか？</p>	<p>・河原の砂の中には、どのような植物の種子が、どのくらい入っているのでしょうか？</p> <p>・実験河川の生態系は周囲の河川と比べてどのような特色があるのでしょうか？</p>	<p>・洪水時に流れる物質は平常時と比較してどのように違うのでしょうか？</p>	<p>・植物の種子は水中でどのような挙動を示すのでしょうか？</p> <p>・実験河川の上流・中流・下流区間では生産・呼吸速度は異なるのでしょうか？</p>	<p>・人は、川底の「きれいさ」をどのように評価しているのでしょうか？</p> <p>・夜行性の希少魚であるネコギギは昼間、どんな場所にいるのでしょうか？</p>	<p>・天然記念物ネコギギはどんな形の川を好むのでしょうか？</p>	<p>・流量変化に伴う河床環境の変化は予測できるのでしょうか？</p>	<p>・フィールドで捉えにくい自然現象を理解する方法はありますか？</p>	
<p>河川に関わる社会の動き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川法改正(1997) ● 環境影響評価法(1997) ● 美しい山河を守る災害復旧基本方針(ガイドライン)策定(1998) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 清流リネッサンスII 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然再生事業の創設 ● 子どもの水辺再発見プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然再生推進法 ● 河川環境検討シートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 魚がのびやすい川づくりの手引き策定 ● 環境教育法 ● 外来生物法 ● 景観法 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多自然川づくりアドバイザー制度 ● 多自然川づくり基本指針 	<ul style="list-style-type: none"> ● 河川法改正10年政策レビュー ● 多自然川づくりポイントブックI ● 中小河川に関する河道計画の技術基準について(改正) 		